



梓川高等学校だより

発行 長野県梓川高等学校 第4号 平成23年11月16日 長野県松本市波田 10,000-1 tel.0263-92-2119 fax. 0263-91-1027

実りの秋に向けて

9月中旬より就職試験が解禁されました。就職を希望する生徒の79.3%が11/14現在で内定してきています。また、10月より多くの大学・短大・専門学校の推薦入試も開始されています。3年生はいよいよ自分の力を試す時期を迎えました。2年生は進路説明会等をきっかけにして、来年度の具体的な進路先を探りはじめ、1年生は来年度のコースを選択することで、自分の進路を方向づけようとしています。



「発達と保育」の授業風景



1学年福祉講話



進路説明会(2学年)

10～12月の行事

- 10月6日 進路説明会(2学年)
- 10月14日 強歩大会
- 10月20日 防災訓練
- 10月27日 生徒会立会演説会
- 10月28日 生徒会選挙
- 10月29日 PTA研修会
- 11月7日 公開授業・教育懇談会
- 11月10日 性教育講座(2年生)
- 11月11日 漢字能力検定
- 11月21日～11月24日 2学期期末考査
- 12月1日～3日 修学旅行(2年)
- 12月8日 生徒総会
- 12月20日～26日 保護者懇談会
- 12月27日 2学期終業式

2年生進路説明会を開催しました

10月6日午後、ライオンがミに運営を依頼し、7つの4年制大学と1つの短期大学、11の専門学校から講師を招き、進路説明会がおこなわれました。

全体会は、社会に出るための基本的な事柄を寸劇仕立てで鑑賞しました。「高校で当たり前のことは社会の非常識」を合言葉に、普段の高校生活をきちんと行うことの大切さ……遅刻・欠席をしないように努力できる人が、「社会に通じる」という話に、自らをふり返った生徒も多かったのではないのでしょうか。保育系の分科会に参加した生徒からは、「講師の方から『自分の中の子どもを大切にする』という言葉をいただき、他の子どもを大切にするためには自分の心の中にある子どもの部分を大切にすることが必要だと納得した。」という感想が寄せられました。

秋天のもと、強歩大会がおこなわれました



女子1位 3年松澤美奈さん



男子1位 1年稲葉一馬君

室山公園まで往復約23kmのコースにチャレンジしました



2学期中間テストの午後に1年生が普通救急救命講習を実施しました

一年生福祉体験学習の感想より ～平林八郎さんのお話をかがいました～

●両腕に障がいをもちながらもパソコンも専用の道具を使って普通の人と同じぐらいに打て、自動車も運転でき、自分で工夫していろいろな道具を作り出していることは、本当にすごいと思った。

●障がいをもっている人も普通の人と同じように生活できるとわかった。自分の障がいへの意識の持ち方も大事だと思った。講演での『人間の命は地球よりも思い』という言葉をおぼえておきたいと思った。

社会福祉援助技術の授業より 吉川徹子先生による点字の授業が始まりました。

先生は、厚生労働省で認められた数少ない「点字技能士」という資格をお持ちです。結婚後、御家庭に入りボ



ランティアとして視覚障害の人とかかわりたいと思い盲学校で点字を学ばれましたが、そこで実習助手として採用され、実習のかたわら学校内の資料等を点訳する仕事についておられました。その後長野県の視覚障害福祉協会の職員として勤務されボランティア講習会等で御指導をされてきています。そんな先生にお話をうかがいました。「視覚障がい者の方々の中で点字を使うことができる人は減少傾向にあります。それは残念ながら糖尿病などで中途失明となる人が現在では多く、点字は若いころから指先の感覚を使って学ぶ必要があるため、なかなか成人してからでは身に付きにくいといったことがあります。しかしながら、視力を失った時に点字を知っているということは、日常の大きな手助けにもなり、耳で聞くこととは少し違う言葉の力で脳をきたえることにもつながります。点字を学ぶ皆さんには、障がいを持つ方を思いやる気持ちを持っていただければいいと考えて授業をしています。」

P T A だより

●10月14日におこなわれた強歩大会では、恒例の豚汁がふるまわれました。前日から用意をしていただいた役員の方々始め、当日御多忙な中に参加して下さった保護者の皆さまに深く感謝申し上げます。

●10月29日 P T A 研修会には今年度は35名の方の参加があり、相道寺焼に挑戦しました。2色の粘土を混ぜ合わせて皿や花瓶を作りました。懇親会はバーベキューをおこない楽しいひとときを過ごすことができました。



相談室だより

一年生が小グループで SST (ソーシャルスキルトレーニング) をおこないました。これは仲間とうまくやっていくための体験型の訓練なのですが、参加した生徒達は人の前で話をする・人の話を聴くということを意識しておこないました。

生徒会だより

●新執行部役員選出される

生徒会長 竹岡愛望さん 副会長 服部未里さん(2年) 副会長 上条文太さん(1年) 議長 上條幸洋さん
波田中学卒 豊科南中学卒 高綱中学卒 波田中学卒

私が入りたいと思っている活動は目安箱の設置です。学校の行事や生徒会の活動には全校の皆さんの意見が必要だと思いました。目安箱にみなさんの質問や意見を入れていただきそれを放送部や放送視聴覚委員と連携をとり昼の放送等を利用して質問や意見に答えるという方法を考えています。目安箱が全校と生徒会とを繋ぐ役割になるといいと思っています。

●10～11月実施された各運動部の大会結果

卓球 団体戦・個人県大会出場
女子ソフトボール 県大会出場
男子バレー 県大会出場
サッカー 新人戦一回戦敗退
(対南安曇農業高校)

陸上部 平田君 ハンマー投げで北信越大会出場
毎日練習したことがつながりました。

